

令和4年度 園評価結果公表シート

西ヶ丘幼稚園

1 本園の教育目標

明るく健康で 思いやりがあり 夢中になってがんばる子どもを育てる

2 目標具現のための教師の心得

学級一人一人の子どもを等しくよく見つめよいところを認め 課題をはっきりさせて指導援助にあたる

3 学校評価の進め方

- (1) 1月 保護者アンケートをとる
- (2) 2月～3月 自己評価を実施する（教職員は学期毎自己評価を行う）
- (3) 2～3月 アンケート結果の自己評価結果を公表する
- (4) 3月 外部評価委員の評価を受ける

4 保護者アンケートの集計結果

A:当てはまる B:どちらかといえば当てはまる C:どちらかといえば当てはまらない D:当てはまらない

() 内の数字は%です。

	項 目	A	B	C	D
1	○子どもは、楽しんで幼稚園に行っている。 (楽しんで行くようになってきた)	86.0	12.4	1.6	0
2	○子どもは、子どもなりに自分の事は自分でやろうとする。 (やろうとするようになってきた)	69.3	27.4	3.3	0
3	○子どもは、仲良しの友達がいる。(仲良しになってきた)	83.8	14.0	1.7	0.5
4	○子どもは、野菜など育て収穫する活動を楽しんでいる。 (楽しむようになってきた)	77.4	17.2	4.4	1.0
5	○子どもは、運動会とその取り組みを頑張り、楽しんだ。	95.1	4.3	0.6	0
6	○子どもは、発表会とその取り組みを頑張り、楽しんだ。	94.0	4.8	1.2	0
7	○子どもは、園行事や園外保育などを楽しんでいる。 (楽しむようになってきた)	96.2	3.2	0.1	0.5
8	○子どもは、絵本好きだ。(好きになってきた)	80.6	17.2	1.7	0.5
9	○子どもは、話す・描く・踊る・歌う・奏でるなどの表現活動(この内の一つでも)を楽しんでいる。(楽しむようになってきた)	92.5	7.5	0	0
10	○西ヶ丘は、子どもを安心して預けられる幼稚園だ。	94.6	3.8	1.6	0
11	○『西ヶ丘だより』や『学級だより』で、園生活の様子や教育方針などがある程度知ることができる。	86.6	13.4	0	0
12	○園の施設・設備は、子どもが安心して楽しく生活できるものになっていると思う。	85.5	14.5	0	0
13	○私は、子どもと一緒に成長していると思う。	52.1	45.2	2.7	0

14	○私には、語り合えるお友達がいる。	70.4	23.7	5.8	0.1
----	-------------------	------	------	-----	-----

5 教師の自己評価結果と取り組みと達成状況

1	○子どもは、楽しんで幼稚園に来た。	94.6%
2	○子どもは、自分の事は自分でやれるようになった。	89.4%
3	○子どもは仲良しの友だちができた。	98.4%
4	○子どもは、栽培活動の作物に関心を持った。	84.2%
5	○子どもは、行事の取り組みに意欲を持ち成長した。	100%
6	○子どもは、自信を持った。	94.6%
7	○子どもは、安全意識が育った。(コロナ対策を含め)	75.4%
8	○子どもは、絵本好きになった。(好きな絵本の題名が言える)	100%
9	○子どもは、話す・描く・踊る・歌う・奏でるなどの表現活動に意欲を持った。	94.6%

評価基準/A:当てはまる B:どちらかといえば当てはまる C:どちらかといえば当てはまらない D:当てはまらない

評価項目	主な評価事項	評価	取り組み状況
I 保育の計画性	○指導計画は、園の方針を踏まえ、子どもの実態などを考慮して作成している。	A'	○保育活動、日常生活に対し、ねらい、願いを持ってあたるようにした。 ○子ども達の現状に合わせて、無理が生じないよう教材選択をし、園児の成長を確かにするため日々研鑽した。
	○子どもの記録を大切にし、次の保育に生かしている。	A'	○子ども達に活動の後振り返りを求め、そこで挙げた声を大切に記録し、良かった点、改善点を洗い出し次の保育に活かしていった担任以外にも子どもの保育中の姿、声を記録し、仲間との育ちを保証するように努めた。
II 子どもの育ちの評価	○園目標で描く子どもの姿が、様々な機会と場で具現している。	A	○マンネリ化に陥らぬよう、子どもの実情に即した保育をするよう努力している。 ○学級閉鎖などで保育日数が減った事もあり、例年行っている活動が出来なかったが、おかれた環境を十分活かしてできる事を継続的に行い、進級させられた。
III 保育のあり方	○子どもの健康と安全には、常に配慮している。	A	○健康観察・安全点検などを大切にし、うがい手洗い、マスク着用の指導、遊び方の見守りや指導、交通安全指導、保護者との連絡などを日常的に行っている。養護教諭と連携し、感染症の蔓延を防ぐ努力を続けた。
	○子どもが好きである。子どもに共感し、一人ひとりの良さを認めている。	A	○一人ひとりをよく観察し、子どもの姿、声を見逃さないように努めた。成長を褒め、子ども達と一緒に喜び合うようにしてきた。
	○個と集団を大切にした保育を行っている。	A	○相談と話し合い、教え合いなどを日常的に行い、一人ひとりの良さ、頑張りを知ること。意見を聴く事で、相互理解をはかり、が実現するような仲間づくりがどの学級でも行われた。

IV 保育者としての努力・良識	○幼稚園教諭としての指導の「引き出し」を多くしようと心掛けている。	B	○幼稚園教諭としての指導の「引き出し」を個でも集団でも多くしようと、外部講師を積極的に引き続き努力していく必要がある。研修や園児の現状、今後の手立て話し合い、打ち合わせをする時間や機会が持ちにくかった。来年度は積極的に外部講師から学ぶ。
	○守秘義務を果たしている。	A	○園児や保護者の個人情報取り扱いや、写真などの配信にも細心の注意を払った。
V 保護者とのつながり	○父母会などは、子どもの様子を知ってもらっただけでなく、子育てについて共通理解を得るのに役立っている。	B	○少しずつ規制を緩和し、保護者参観を行った。また、3学期は父母懇談会を行い、来年度に繋がる会となった。また、個人面談、保育参観を行えたため保護者とのつながりがあった。 学年学級だより(月1回)、園だより(日々)を発行して、子どもの様子や教育内容を知らせたり、ホームページに各学級の写真を各月に多数アルバムに掲載して、書面だけでなく保育の様子を具体的に知らせることが出来た。
VI 地域の自然・社会との関わり	○地域の自然や施設・機関を保育に活用している。	B'	○コロナ対策で計画していた園外保育が出来ない事が多かったが、3学期は進級登山を行い、富士山や富士宮への親近感を抱く機会に繋がった。
VII 研修への取り組み	○研修主題に沿った保育を実践することにより、子どものために多くの成果があった。	A'	○全体研修では3密を避けるため短時間で報告を行った後、学年研修を行い、園児理解と保育について研鑽を深めた。 ○教師間で子ども達の成長を共有し学年学級を越えた成長を認める機会を確保している。 ○もっと自分の保育を高められる内容を研修委員会を中心に更に来年度は深めるように事前に計画を立てている。
VIII 園運営	○子ども達が育つ園行事を企画し実施している。	A'	○定例行事委員会他7つの指導委員会が園行事を、それぞれ企画し、実施した。 ○各学年に応じた園外保育も実施した。 ○今年度は昨年度の反省を活かし、新型コロナ対策を取りつつ、コロナの感染状況によって延期や中止、縮小があったが、来年度はコロナが5類に変わるためコロナ禍以前に戻していく過渡期とする。

6 自己評価と外部評価

評価基準/A:当てはまる B:どちらかといえば当てはまる C:どちらかといえば当てはまらない D:当てはまらない

評価項目	自己評価	自己評価コメント	外部評価	外部評価コメント
I 保育の計画性	A' A'	○保育活動、日常生活に対し、ねらい、願いを持たせてあたらしくした。 ○子ども達の現状に合わせて、無理が生じないよう教材選択をし、園児の成長を確かにするため日々研鑽した。 ○子ども達に活動の後振り返りを求め、そこで挙げた声を大切に記録し、良かった点、改善点を洗い出し次の保育に活かしていった担任以外にも子どもの保育中の姿、声を記録し、仲間との育ちを保証するように努めた。	A A	○新型コロナウイルス感染予防のため園開園に規制がかかる中、様々な園行事や保育の取り組みを、無理なくつながりを持たせて行っていることで、成長している事が分かる。 ○コロナ禍であったが親子のふれあいの場を、もう少し欲しかった。 ○子ども達が育つ園行事を大変な時期だが、企画し実施したといえる。 ○楽しみにしていた年長組の「つばめの日」が縮小されたのは残念であった。

II 子どもの育ちの評価	A	<p>○マンネリ化に陥らぬよう、子どもの実情に即した保育をするよう努力している。</p> <p>○学級閉鎖などで保育日数が減った事もあり、例年行っている活動が出来なかったが、おかれた環境を十分活かしてできる事を継続的に行い、進級させられた。</p>	A B	<p>○園だよりだけでなく、子どもが家で友だちのいい所、がんばりを褒めている姿を見て、仲よしづくりが成果を上げている。その成果は先日の卒園式で我が子が友だちと一緒に 真剣に取り組んでいる姿から感じたし、家に帰ってから園での様子をよく話してくれる姿から感じる。</p>
III 保育のあり方	A A A'	<p>○健康観察・安全点検などを大切にし、うがい手洗い、マスク着用の指導、遊び方の見守りや指導、交通安全指導、保護者との連絡などを日常的に行っている。養護教諭と連携し、感染症の蔓延を防ぐ努力を続けた。</p> <p>○一人ひとりをよく観察し、子どもの姿、声を見逃さないように努めた。成長を褒め、子ども達と一緒に喜び合うようにしてきた。</p> <p>○相談と話し合い、教え合いなどを日常的に行い、一人ひとりの良さ、頑張りを知ること。意見を聴く事で、相互理解をはかり、が実現するような仲間づくりがどの学級でも行われた。</p>	A A A	<p>○7月、9月、2月の感染拡大で運動面が停滞するかと思われたが、運動会の取り組みは見事であった。3学期のなわとび運動とドッジボールの取り組みはよかったと思うが、もっと色々な運動に挑戦して欲しい。</p> <p>○我が子だけでなく西ヶ丘幼稚園の子ども達は、本当に仲よし。特に2学期運動会の取り組み、発表会で仲良しの友だちが増えた。そしてまとめの3学期で更に仲間が増えたと思う。</p> <p>○家庭でも幼稚園の様子をたくさん話してくれ、日々成長していると嬉しく感じていた。今年度も感染症対策の強化が顕著であったが園児や関係者の罹患が増えた時期の保育は心配であった。しかし、子ども達が夢中になって楽しむ保育をいつも行ってくれ感謝でいっぱいである。</p>
IV 保育者としての努力・良識	B A	<p>○幼稚園教諭としての指導の「引き出し」を個でも集団でも多くしようと、外部講師を積極的に引き続き努力していく必要がある。研修や園児の現状、今後の手立て話し合い、打ち合わせをする時間や機会が持ちにくかった。</p> <p>来年度は積極的に外部講師から学ぶ。</p> <p>○園児や保護者の個人情報の取り扱いや、写真などの配信にも細心の注意を払った。</p>	A	<p>○コロナ禍の中で園長先生を中心に、先生方が大変頑張っておられるのがよくわかる。引き続き子ども達を園目標に近づくように育ててほしい。</p> <p>○今年度から、脳育モンテやリトミック、体操指導など新しい事を導入して頂き、より専門的に力がつく機会になっていると思う。</p>
V 保護者とのつながり	A'	<p>○少しずつ規制を緩和し、保護者参観を行った。また、3学期は父母懇談会を行い、来年度に繋がる会となった。また、個人面談、保育参観を行えたため保護者とのつながり。</p> <p>学年学級だより（月1回）、園だより（日々）を発行して、子どもの様子や教育内容を知らせたり、ホームページに各学級の写真を各月に多数アルバムに掲載して、書面だけでなく保育の様子を具体的に知らせることが出来た。</p>	A	<p>○園だよりや学年だよりを読む中で、子ども達の仲間のつながりを大切にしていることがよく分かる。また、ホームページの写真が増えた事でより子ども達の様子が分かった。これからも子どもの為になる計画を立てて欲しい。</p> <p>○園に行くと、学年の違う先生も「△△君、今日○○ができるようになりました。」等と声を掛けてもらえるのも頷ける。</p> <p>○いろいろな要望が保護者様からされますが、その意見も前向きに検討し、採り入れていますね。令和5年度も少子高齢化が加速するが、子育て支援も充実して園経営をより安定させて下さい。</p>

VI 地域の自然・社会との関わり	B'	○コロナ対策で計画していた園外保育が出来ない事が多かったが、3学期は進級登山を行い、富士山や富士宮への親近感を抱く機会に繋がった。	B	○路上などで見ていて、安全に対して自分で考えて行動できた子ども達が多くいたと思う。 ○もう少し、園近隣の環境を活かして歩いて行く園外保育などを計画、実践した方が良い。
VII 研修への取り組み	A'	○全体研修では3密を避けるため短時間で報告を行った後、学年研修を行い、園児理解と保育について研鑽を深めた。 ○教師間で子ども達の成長を共有し学年学級を越えた成長を認める機会を確保している。 ○もっと自分の保育を高められる内容を研修委員会を中心に更に来年度は深めるように事前に計画を立てている。	A	○コロナ禍で人数制限や仕事の煩雑化で、なかなか「本物」に触れる経験が少なくなったから、「本物」で調べる、専門書や絵本を読む、子ども・親や教師仲間から学ぶなどのことをこれからも続けて欲しい。 ○先生方が研修や保育内容を子ども達にあったように工夫してくれているのがよくわかります。質の高い保育。それに加え、差別化できる保育を期待します。経営を引き続き頑張ってください。
VIII 園運営	A'	○定例行事委員会他7つの指導委員会が園行事を、それぞれ企画し、実施した。 ○各学年に応じた園外保育も実施した。 ○今年度は昨年度の反省を活かし、新型コロナ対策を取りつつ、コロナの感染状況によって延期や中止、縮小があったが、来年度はコロナが5類に変わるためコロナ禍以前に戻していく過渡期とする。	A'	○大変な状況下であるが子ども達が育つ園行事を企画し実施したといえる。 ○最後の卒園式は素晴らしかった。 ○コロナ禍で仕方が無いが、親子のふれあい、参観の機会がもう少し欲しい。中止にせず、延期で対応をして欲しい。 ○多くの行事の運営、大変ですが頑張ってください。 ○先の見えないコロナ問題、子どもの安全を優先して園を運営して下さい。

7 外部評価委員会からのその他のコメント抜粋

- 園長先生を中心に、先生方が行事、保育内容、研修などを子ども達にあったように工夫してくれているのがよくわかります。コロナ禍の3年大変な状況下ではありましたが、子どもが幸せに暮らせる園生活を送れるよう園経営を引き続き頑張ってください。
- いろいろな要望が保護者様からだされませんが、その意見も前向きに検討し、採り入れていきますね。令和5年度も園児数が減りますが、子育て支援も充実して園経営を安定できるようがんばってください。
- 少子高齢化の中で大変な世の中ですが、子ども達が成長する姿には感心させられます。先生方の努力のお陰です。来年度も園児の幸せを最優先の保育をよろしく願います。
- 一保護者として、子どもを西ヶ丘に入れて本当によかったと思っています。この3年間で友だちといっぱい関わったこと、様々な活動を通して自信を付けたことが嬉しいです。先日の卒園式、壇上で堂々と言葉を発し、友だちと真剣に落ち着いた姿に唯々感動していました。
- コロナ対策と保育の両立、本当に大変だった1年と自己評価などを見て推測できます。その中でも日々の保育計画と反省を綿密に実施されていることが伺えます。
幼児教育を取り巻く環境が、ますます困難な時代になり、先生方のご苦勞が忍ばれますが、園の更なる発展を期待しています。来年度も宜しく願います。